

## 教育委員会定例会日程

平成27年6月25日

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 会議録署名委員の決定

4 報告事項

(1) 小田原城天守模型等の調査研究報告（最終報告）について

(資料1 文化財課)

5 議事

日程第1

議案第23号

小田原市就学指導委員会委員の委嘱について

(教育指導課)

6 その他

7 閉 会

## 小田原城天守模型等の調査研究報告（最終報告）について

小田原城天守模型等の調査研究については、天守模型等の詳細調査を実施し、資料の価値を明確にするとともに、江戸期に存在した小田原城天守の実像を検証することを目的として平成25年度・平成26年度の2箇年にわたって調査を行った。

その調査・研究の成果については、これまでも平成26年8月の厚生文教常任委員会に中間報告を行ったほか、市民を対象として平成26年12月20日に「小田原城天守模型等調査報告会～小田原城天守模型等の調査で何がわかったか～」と題する催しにより公開してきたところである。この度、最終報告として「小田原城天守模型等の調査研究報告書」が完成したので、その概要を報告する。

### 1 委託先

学校法人 神奈川大学（神奈川大学名誉教授 西 和夫 博士の研究チーム）

### 2 委託期間

#### (1) 平成25年度調査

平成25年6月24日～平成26年3月14日

#### (2) 平成26年度調査

平成26年6月23日～平成27年3月31日

### 3 主な調査成果の概要

#### (1) 小田原城天守模型3基の比較検討

小田原城天守の模型は、小田原城天守閣に展示されている「旧東京大学蔵（以下「東大模型」という。）」と、「大久保神社蔵（以下「大久保神社模型」という。）」、そして神奈川県立歴史博物館に展示されている「東京国立博物館蔵（以下「東博模型」という。）」の3基が知られており、いずれも江戸時代に製作されたものと考えられている。今回それぞれの模型を調査し、比較検討を行ったものである。

小田原城天守模型3基の比較から次のことが判明した。

- ① 3基の模型のうち、大久保神社模型と東博模型は類似する点が多い。東大模型は別の文脈をもつ存在であることがうかがえる。
- ② 模型3基の年代を確定する根拠は得られなかった。
- ③ 東博模型には最上階の4階に摩利支天を祀る空間の表現がなされ、その様相が初めて明らかになった。
- ④ 大久保神社模型と東博模型は、高さ方向も平面方向も同じ縮尺で作られている。小田原城三重天守引図との比較から、柱梁の架構まで実際の構造に近い形で表現されている。

#### (2) 小田原城天守最上階に祀られた摩利支天像及びその空間の存在

小田原城天守最上階に祀られていた摩利支天像は、現在も復興天守最上階の、三層天守の姿をした厨子の中に安置されている。この像は武士の守り本尊とされ、貞享3年（1686）に小田原藩主大久保忠朝が天守に奉安したものであり、元禄16年（1703）の大地震で天守は全焼したが、この像のみ災いを免れたので、御天守摩利支天と呼ばれ、さらに尊崇されたといわれている。大久保神社模型と東博模型の2

基の模型には摩利支天像を祀る空間が再現されており、この像の周りに他の天守七尊（大日如来・阿弥陀如来・如意輪観音・弁財天女・子安地藏・薬師如来）が安置されていたことなど、この調査により新たな知見を得ることができた。このため、現在経済部観光課で進めている、天守閣耐震化工事にその成果を活かし、最上階に摩利支天像などが祀られていた空間が復元されることとなった。

### (3) 類例天守模型との比較検討

宇和島城天守模型、松江城天守模型、延岡城二重櫓模型・三重櫓模型、大洲城天守模型の4箇所5基の類例天守模型と小田原城天守模型3基とを比較し、次のことが判明した。

- ① 近世に遡る天守模型は全国的に5箇所8基で全てである。
- ② そのうち3基が小田原城天守模型で、屋根瓦まで表現されており、模型として優れている。東博模型は未指定だが、大久保神社模型と東大模型が神奈川県重要文化財（建造物）に指定されていることから、同等の価値を有する。
- ③ 類例調査を行った4箇所5基の天守模型はいずれも柱梁の架構を示すもので、小田原城天守模型の東大模型のように外壁を表現したものは珍しい。
- ④ 大久保神社模型と東博模型のように最上階の摩利支天を祀る空間のような内部の様子まで表現しているものは他にはなかった。
- ⑤ 4箇所5基の天守模型のうち、宇和島城天守模型は、縮尺1/10で作られた精巧な模型であり、他の模型は高さ方向や柱太さが強調されているものもあった。これは模型を作る上で今でも採用される一般的な手法であり、小田原城天守模型についても、その作られた意図を汲み取る必要がある。
- ⑥ 模型は、天守造営にあたった大工棟梁が作っている。手間・費用・時間をかけて作っており、類例からは修理時や再建時に作ったことが確認された。
- ⑦ 小田原城天守模型も、再建時に作られたものだとすれば、安政元年（1854）・2年（1855）の地震後、災害が続き、天守の修理ができず、やっと文久元年（1861）に模型を作って検討したのではないかと推測される。この時に大久保神社模型と東博模型のいずれか、または両方が作られたと考えても矛盾しない。

### (4) 木造復元（復興）天守の実例調査

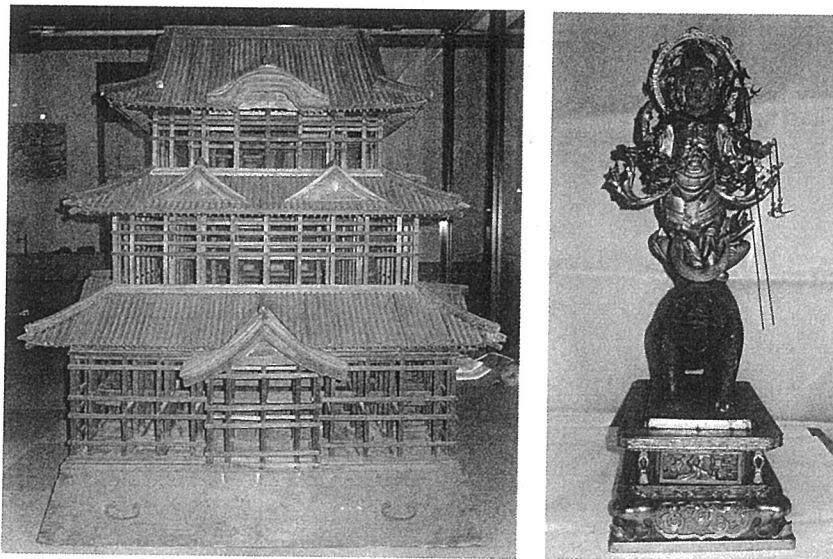
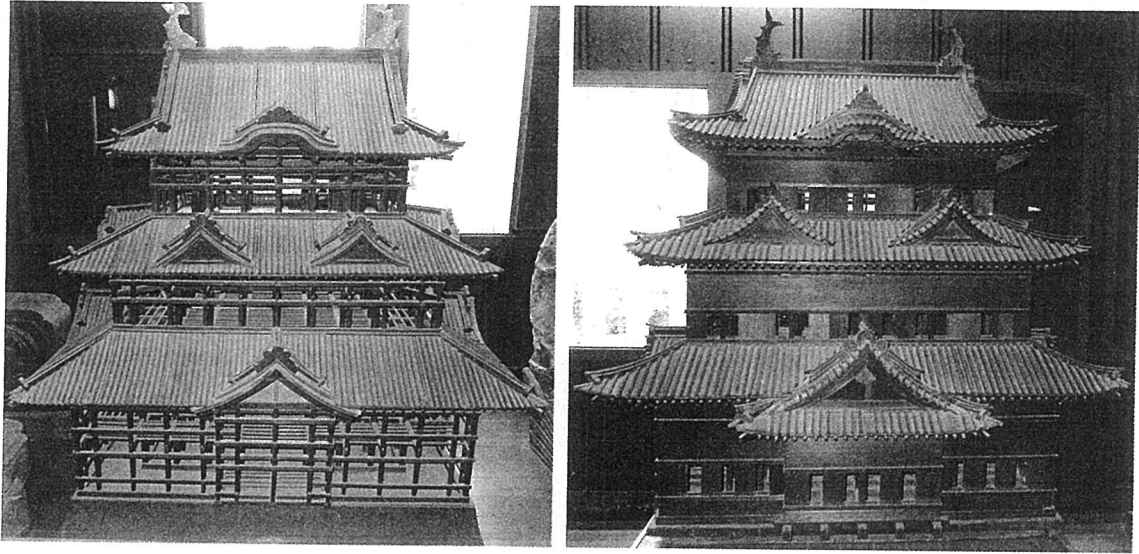
いずれも国指定史跡ではないが、木造で復元（復興）された白石城復元天守、掛川城復元天守、大洲城復元天守の3つの天守の実例調査を実施した。

## 4 まとめ

小田原城の3基の天守模型や関連図面等の調査、比較検証を行ったほか、他の城の5基の天守模型とも比較検討を行ったことにより、小田原城天守模型の重要性を改めて確認することができた。また、天守最上階の摩利支天像等が祀られていた空間の存在が明らかにされたことも、大きな成果の一つと言える。引き続き、小田原城天守の実像を解明していく上での重要な資料となることが期待される。

なお、こうした成果をふまえ、既に神奈川県重要文化財（建造物）に指定されている小田原城天守閣に展示されている2基に加え、東博模型を含む3基で改めて文化財的価値の評価を行う必要があるものと思われる。

小田原城天守模型等の調査研究報告書



2015年3月

小田原城天守模型等調査団

2重3階までの通し柱で、柱太さは中心柱が29mm角、四周柱が23mm角である。中央柱は4階では八角柱(径23mm)となる。床組は床梁を表現する。4階南側部分には、東面中央に上部に火灯窓頭部のような飾りをつけた棚の表現がされている。ここが摩利支天を祀った場所だと判断される。前面の床は上段で、格天井を張る。石垣が表現されている。

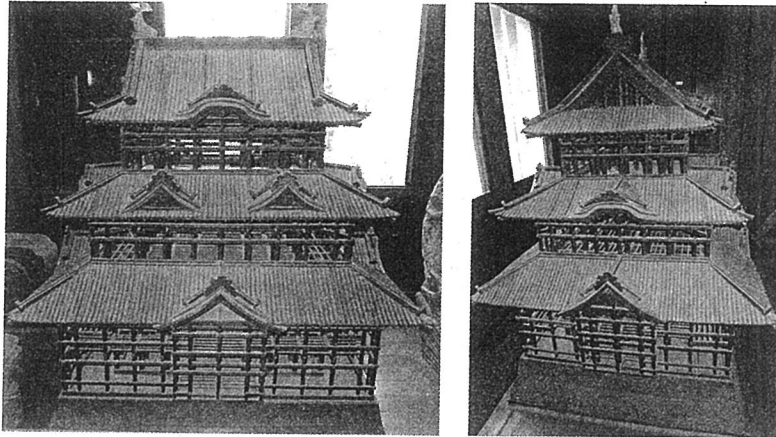


図1 小田原城天守大久保神社模型外観 (小田原城天守閣展示)

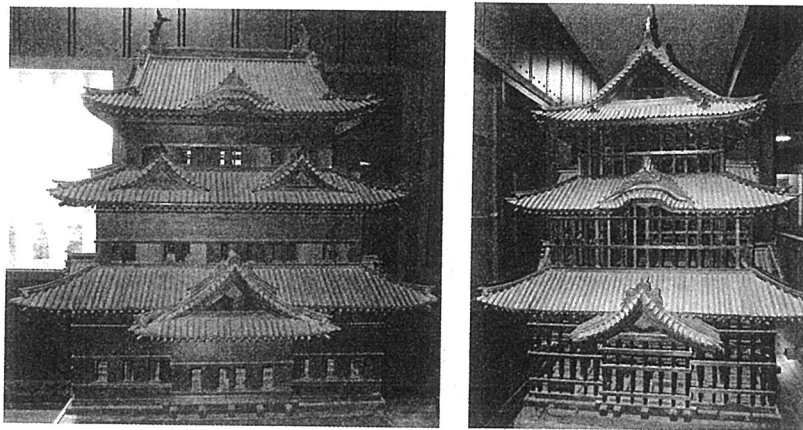


図2 小田原城天守東大模型外観 (小田原城天守閣展示)

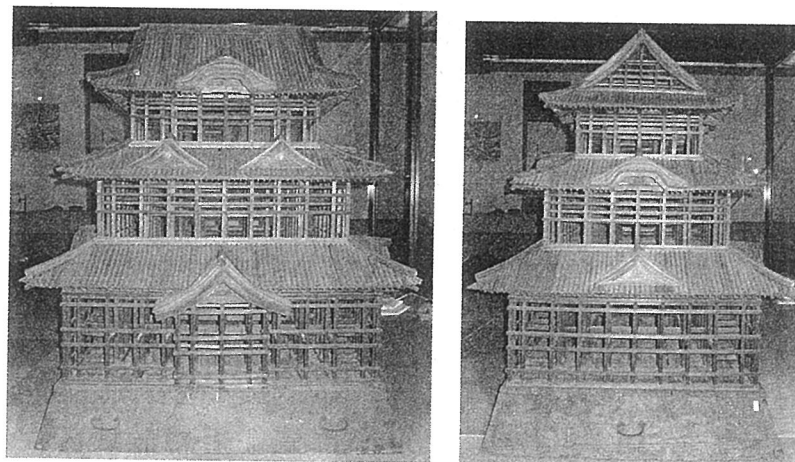


図3 小田原城天守東博模型外観 (東博所蔵、神奈川県博展示)

## (2) 小田原城天守と摩利支天像

小田原城天守最上階に祀られた摩利支天像は、現在、復原天守最上階に展示されている。展示解説文によると<sup>3)</sup>、摩利支天は藩主大久保忠朝（1632～1712）が愛蔵したもので、忠朝が一旗本の次男に生まれながら後に本家を嗣いで小田原城主となり老中筆頭にまで栄達したのは若い頃から摩利支天を信仰したことによるとの理由で、貞享3年（1686）の忠朝小田原城入城のときに天守閣に奉安した。元禄16年（1703）の大地震で天守は全焼したが、この像のみ災を免れたので、御天守摩利支天と呼ばれてさらに尊崇されたという。明治3年（1870）の小田原城天守取壊し後、小田原市入谷津の永久寺<sup>4)</sup>に安置されたが、1960年復原天守完成によって返還された。

像は、三層天守の姿をした厨子の中に安置されている（図8）。厨子は木製で、石垣の上に建ち、屋根は入母屋造りで棟に鯨を乗せ、1階正面に唐破風をつけて扉を開く。外壁を紅く着色し、内部に金箔を貼る。正面の石垣に2本の縦長の溝があるのは、階段が取り付けられた痕跡であろう。

摩利支天は、日本では武士の守り本尊とされ、護身・隠身・遠行・得財・勝利などを祈り、二臂あるいは三面六臂、猪に乗る天女像などで表される<sup>5)</sup>。小田原城天守に祀られた摩利支天像は、3つの顔と6つの腕をもち、三面六臂の立像である（図9）。

厨子と共に展示された永久寺制作の天守七尊図（図10、縦625mm、横203mm）を見ると、縦長画面の上部に三重天守の厨子に入った摩利支天像、下部に大日如来・阿弥陀如来・如意輪観世音・弁財天女・子安地藏・薬師如来が描かれる。明治に永久寺に移った後も、三重天守の姿をした厨子は小田原城天守を表すと考えられ、小田原城天守と摩利支天像の密接な関係が窺える。他の6像は、摩利支天と合わせて天守七尊と呼ばれ、小田原城天守最上階と一緒に安置されていた。

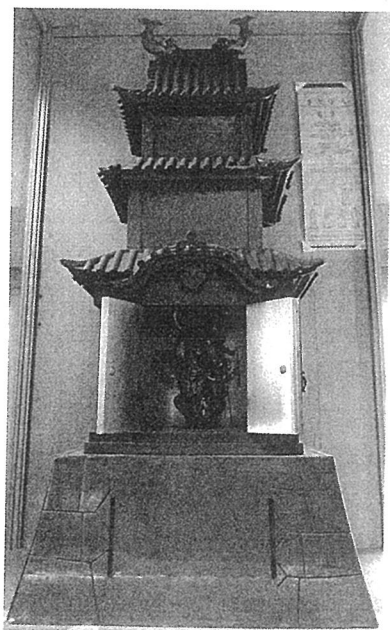


図8 摩利支天像と厨子



図9 摩利支天像

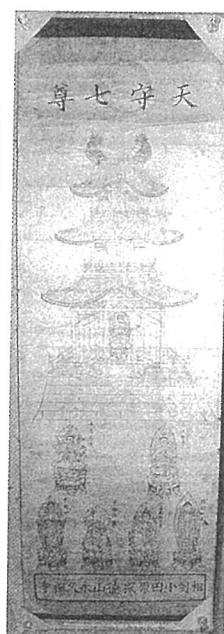


図10 天守七尊図

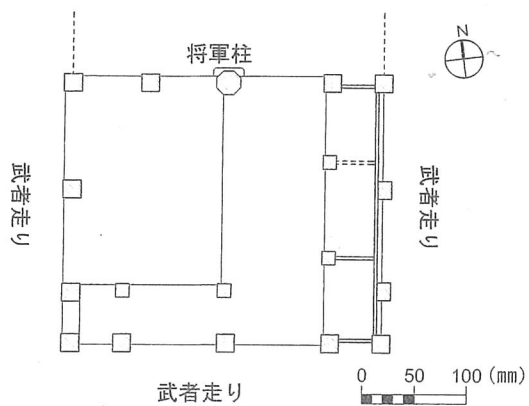


図1 東博模型天守最上階南側平面図

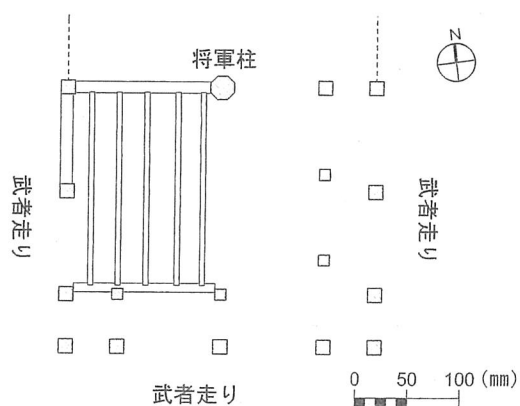


図2 大久保神社模型天守最上階南側平面図

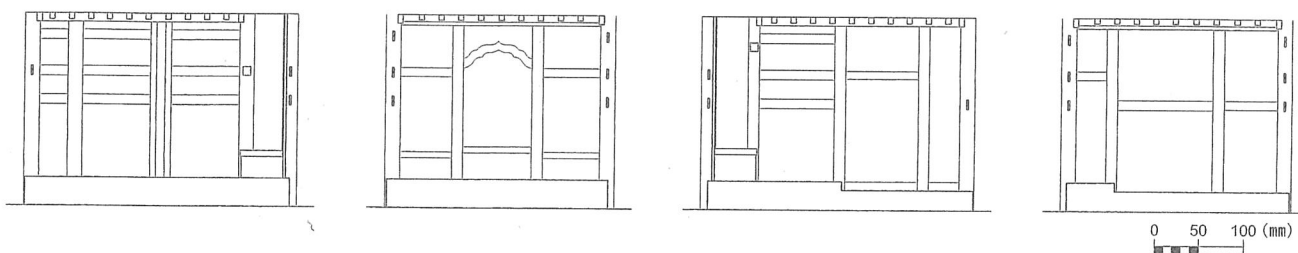


図3 東博模型天守最上階南側展開図 左から北面・東面・南面・西面

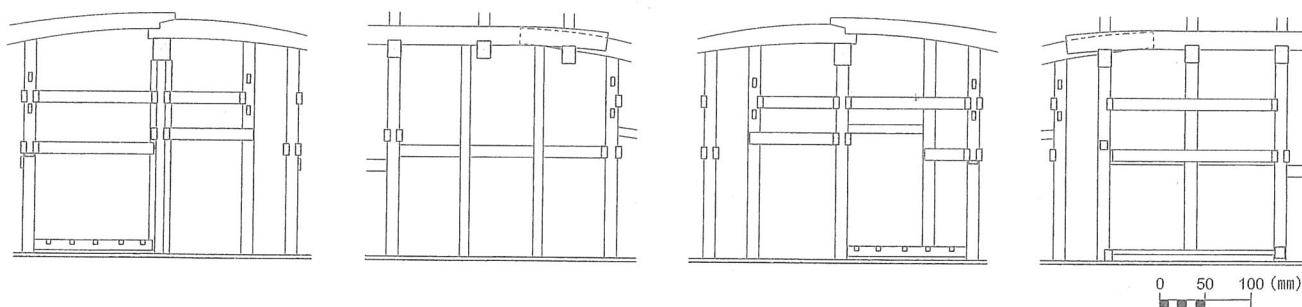


図4 大久保神社模型天守最上階南側展開図 左から北面・東面・南面・西面

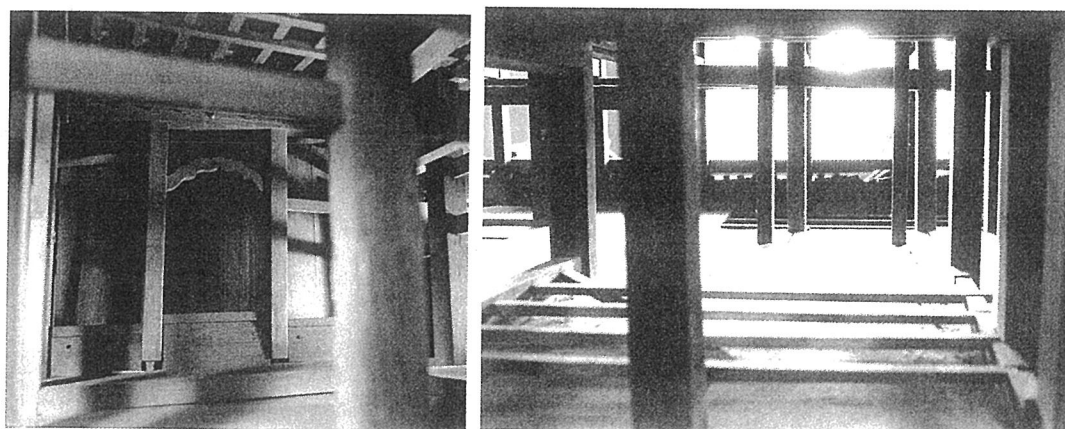


図5 東博模型(左)と大久保神社模型(右)最上階内観

議案第 23 号

小田原市就学指導委員会委員の委嘱について

小田原市就学指導委員会委員の委嘱について、議決を求める。

平成 27 年 6 月 25 日提出

小田原市教育委員会  
教育長 栢沼 行雄



## 小田原市就学指導委員会委員名簿

任期：平成27年7月1日～平成28年6月30日

No.	選出区分	氏 名	所 属 等
1	医 師	寺 崎 雅 子	小田原市立病院 副院長
2	”	山 崎 伸	やまざき小児科医院 院長
3	”	山 口 隆 之	曾我病院 副院長
4	学識経験者	三 橋 雅 幸	小田原市立曾我小学校 校長
5	”	岩 崎 由 美 子	小田原市立千代中学校 校長
6	本市を管轄する児童相談所の職員	星 野 幸 雄	小田原児童相談所 子ども支援課 専門福祉司
7	本市の区域内に存する 特別支援学校の教員	中 村 尚 見	神奈川県立小田原養護学校 総括教諭
8	特別支援学級を設置する 小田原市立小学校の校長	沖 津 芳 賢	小田原市立三の丸小学校 校長
9	小田原市立中学校の校長	田 中 修	小田原市立城南中学校 校長
10	特別支援学級を担任するもの	中 嶋 都	小田原市立下中小学校 教諭
11	”	大 野 佳 余 子	小田原市立新玉小学校 教諭
12	”	府 川 真 智 子	小田原市立国府津小学校 教諭
13	”	小 川 雅 道	小田原市立城山中学校 教諭
14	”	興 津 敬 代	小田原市立城北中学校 教諭
15	教育委員会が必要と認める者	白 石 泰 夫	心理判定員
16	”	田 中 早 苗	心理判定員
17	”	小 倉 直 子	心理判定員
18	”	内 田 暁 子	障がい福祉課 障がい者支援担当副課長
19	”	下 澤 栄 子	障がい福祉課 障がい児通園係長
20	”	神 谷 美 智 子	健康づくり課 主査
21	”	小 川 由 野	特別支援教育相談室あおぞら 相談員
22	”	井 上 康 子	コミュニケーションの教室「フレンド」 教諭
23	”	中 野 悦 子	ことばの教室 教諭
24	”	市 川 嘉 裕	教育指導課 課長
25	”	大 場 得 信	教育研究所 所長